

# 峰のひかり

発行人  
 社会福祉法人 七峰会  
 理事長 奥田 稔  
 〒036-8356  
 青森県弘前市大字下白銀町 21-8  
 電話 (0172)33-8861  
 FAX (0172)33-8862



知的障害者通勤寮 拓心館  
 「ケータイ安全教室」  
 開催！

拓心館グループ『津軽障害者就業・生活支援センター』では、9月13日（日）午前10時から会場『ラグリー（弘前市野田）』にて「ケータイ安全教室」を開催しました。

携帯電話を所持する利用者の方が増えており、携帯電話をめぐるトラブルから身を守るため参加者を募ったところ、通勤寮『拓心館』、グループホーム・ケアホームの地域に住む利用者の方が35名集まりました。

講師に『NTTドコモ東北』の方を迎え、詳しく分かりやすく以上の事をお話頂きました。

- ①ケータイ電話の使い方とトラブル
- ②迷惑メールの種類と出会い系サイトの危険、被害から身を守る方法
- ③トラブルから身を守る機能
- ④加害者にならないためには
- ⑤ケータイと正しく付き合うためには
- ⑥ケータイのルール・マナー（まとめ）

皆さんが最も興味深く話を聞いていたのが「迷惑メール」についてでした。迷惑メールで一番多いのが出会い系サイトであり、返信する事により詐欺・事件等の被害にあう方が多く、心当たりがないメールには返信しない、フィルタリング機能を使うようアドバイスを頂きました。

デイスカッションでは長岡所長より、実際に身の回りで起きた携帯電話によるトラブルの事例が話され、講師の方に正しい対処法をご説明頂きました。

利用者の方々は、携帯電話の有無に関わらず終始熱心に話しに耳を傾け、1時間30分という時間が短く感じられました。

利用者を代表し吉田将平さんに交流会の感想を聞きました。

「迷惑メールは見えない、返信はしないようにしてトラブルに巻き込まれないようにします。」とのコメントを頂きました。

普段、私たちの生活には欠かせない携帯電話ですが、間違った使い方により被害に遭うという事を、利用者の方たちは交流会に参加し理解を深めていました。これからも日常生活をより良いものにするため、定期的に交流会を開催します。

身体障害者授産施設 山郷館くろいし

山郷館くろいし秋祭り  
『秋の里 お祭り広場』

九月五日、素晴らしい秋晴れの  
下、待ちに待った秋祭り『秋の里  
お祭り広場』が開催されました。

今年で三回目をむかえた秋祭り  
は、利用者や職員ばかりではなく地  
域の皆さんにとっても楽しみとなつ  
ているようで、今回も百十人と多く  
の方々が来館されました。



今年、さまざまな模擬店に加  
え、利用者自治会でもジュースの販  
売を行いました。このジュース販売  
は計画から仕入れ販売までのすべて  
を自治会が行い、当日は完売という  
形で実を結びました。

また、黒石東小学校の吹奏楽演奏

や、ダンスチーム『ゴールドラッ  
シュ』によるヒップホップダンス

は、会場全体が一体となって盛り上  
がることができ、毎年おなじみと  
なった全員参加のよされ踊りは、来  
館者から「これが楽しみだったの」  
という声が出るほどになりました。

どこのテーブルからも、こぼれん  
ばかりの笑顔と大きな笑い声が終始  
絶えることなく、また早くも次回を  
期待する声が聞こえる中、大成功の  
うちに幕を閉じることができまし  
た。

今年もとても素晴らしい秋祭りに  
なり、こんなにも多くの方々や地域  
の皆さんに支えられていることを強  
く実感いたしました。

ご協力してくださった皆さんやご  
来館くださったみなさん、本当にあ  
りがとうございました。



身体障害者授産施設 旭光園

岩木山関 来園

去る8月12日に、県立武道館で大  
相撲弘前巡業があり、その前日の11  
日、旭光園に閑取『岩木山関』の慰  
問がありました。

当日は、テレビでは見慣れている  
ものの、本物を間近で見るとなる  
と、なぜか落ち着かず、朝からみな  
さんそわそわしていました。

近所の『はすね保育園』にお誘い  
をしたところ、園児たちも駆けつ  
け、旭光園内の食堂はとてにぎや  
かになりました。

大きな山のような『岩木山関』が登  
場すると、園児や利用者の方から、  
「わー。」という大歓声が上がりま  
した。みなさん間近で力士と対面す  
るのが初めてという方が多く、がっ  
ちりとした体格や風ぼうに感激でし  
た。

『岩木山関』と握手した利用者の  
方は、「とても大きな手でした。  
大きさと厚みがやっぱり違います  
ね。」と感動。園児たちは、腕にぶ  
ら下がっては、力強さを実感してい  
ました。

最後に『岩木山関』は、その大き  
な風ぼうとは反対に、やさしい笑顔

と静かな口調で、「みなさん何事  
も、一生懸命頑張ってください。」と  
話されました。

最後は全員で写真をとり、サイン  
をしてもらい、岩木山関の魅力に、  
すっかり魅了されました。

短い時間でしたが本物の力士を間  
近で見られて、とてもよい時間を過  
ごしました。これからもみんなと  
『岩木山関』を応援していきたいと  
思います。



身体障害者療護施設

山郷館

## 「福祉車輛寄贈される」



ありました。これは福祉施設利用者の日常生活や社会参加に役立つことを考え、福祉車輛を全国の福祉施設へ寄贈しているものです。今年は、

全国7県が対象となり、青森県では県社会福祉協議会の推薦を受け、山郷館に決定致しました。この取り組みは、自動車総連との連携で、1985年からスタートし、これまでの寄贈累計は、112台になるそうです。

当日の贈呈式では、北側会長より工藤山郷館長へ贈呈の目録とゴールドエンキーが手渡されました。その後、車いす固定操作等の実演を兼ねた説明を受け、さっそく試乗となりました。この度、寄贈された車輛は、4WDの車いす固定可能な軽自動車であり、誰でも扱いやすく気軽に運転操作ができます。特に、厳しい津軽の冬には、たいへん機動力の高い車輛として、利用者の方の外出や通院等の際には、大いに活用できるものと期待されています。本当にありがとうございます。

山郷館の移動手段に、新たに強力な助っ人が加わりました。平成21年9月18日、富士重工工業関連労働組合連合会(組合員数22,000人、北側秀一会長)様より、福祉車輛スバルサンバートランスケアの寄贈が

知的障害者厚生施設

拓光園

## 彼岸を味わう

秋彼岸の入りを間近に控えた九月十七日、拓光園ではご家族の方々との協力のもと、恒例の行事となっているおはぎ作りが行われました。

春彼岸は「ぼた餅」秋彼岸は「お萩」と一般には呼ばれておりますが、利用者の皆さんにはおはぎという呼び方がほぼ定着している様子が、春でも秋でもおはぎ作りと呼ん



でいる方が多いようです。今回は十二名のご家族の方が参加され三百個以上のおはぎを作っていただきました。一時間もかからぬうちに次々と出来上がる甘くて、ちよつと大きめのおはぎ、待ち切れずそばで眺めている利用者の皆さんもよだれをたらさんばかりの表情です。

お母さん方の馴れた手つきや長年の熟練とも言える主婦の技に、おいしいおはぎを利用者の皆さんに味わってもらいたいという愛情が加わり、その日の昼食は一足早い秋彼岸の風情を十分堪能できたようでした。

ご家族の皆様は協力をお願いしておはぎ作りは二十年以上続いている行事であり、この時期になるとだれ彼となく、今年のおはぎ作りは何日かというところが話題に上ります。利用者の皆さんが楽しみにしている限り、これからもずっと続けていきたいと考えています。

栄養士 福土八重子記

特別養護老人ホーム **サンアップルグループ**  
**特養の医療行為モデル**  
**事業始まる**

特別養護老人ホームの介護職員による口腔内吸引や経管栄養など一部の医療行為に道を開くため、厚生労働省が進めている「特別養護老人ホームにおける看護職員と介護職員の連携によるケアの在り方に関するモデル事業」の実施が、9月初旬から試行が始まりました。



モデル事業実施施設は、要件を満たす全国130施設からなり、青森

県ではサンアップルホームを含めて3施設がモデルとなり検証をしています。対象となる130施設の看護職員

は、東京都内で「指導看護師養成研修」に参加し、吸引などのやり方を介護職員に指導するノウハウを学びました。

**検証の目的は**

- ①施設内で、看護職員と介護職員が連携により医療的ケアを適切に実施できたかを明らかにする
- ②プログラムの適切さに関する課題を明らかにする
- ③教材の適切さに関する課題を明らかにする

**検証の内容は**

- ・事前事後評価。指導看護師の養成研修前後の評価と看護職員の施設研修前後の評価。
- ・介護職員向けプロセス評価。介護職員の吸引及び経管栄養の実践の達成度と安全評価。指導看護師による介護職員への実践の達成度と安全評価。
- ・日誌。介護職員による吸引及び経管栄養の実績報告。
- ・質問票。指導看護師養成研修、施設内看護師と介護職員研修、指導

と教材の評価。指導看護師による他のモデル事業実施施設への訪問。



この検証は、1月下旬まで行われ、2月下旬には、特養の看護や介護の専門家、施設長、嘱託医から成る「専門委員会」がモデル事業の評価を行い報告をまとめ、厚生労働省で検討会が行われます。

サンアップルホームでは、モデル事業施設として、看護と介護の視点の違いなどを十分に観察し、今後の連携によるケアが実現できるよう貢献していきたいと考えます。

介護事業

高齢者介護事業

障害者支援事業

総合支援事業

- 山郷館居宅介護支援センター ☎2941
- サンアップル居宅介護支援センター ☎2131

- 特別養護老人ホーム
- サンアップルホーム ☎2111
- サンアップル短期入所生活介護センター
- サンアップルホムデイサービスセンター
- サンアップルヘルパーセンター ☎3758
- 認知症グループホームアップル ☎2778
- 認知症デイサービスセンターじよい ☎2013
- サポートセンターわかば ☎1165
- 認知症グループホームわかば
- デイサービスセンターわかば
- サンアップル在宅介護支援センター ☎2131

- 主に身体
- 山郷館身体障害者(児)短期入所事業所 ☎2211
  - 山郷館アイサービスセンター
  - 山郷館アイサービスセンター弘前
  - 山郷館アイサービスセンターくれよん
  - 山郷館地域活動支援センターくれよん
  - 山郷館訪問介護センター
  - 山郷館くらし ☎3070
  - 身体障害者福祉 ☎5155
  - 旭光 ☎5155
  - 旭光園身体障害者短期入所事業所
  - 福祉ホームさわら

- 主に知的
- 知的所有者施設 拓光 ☎2331
  - 拓光園短期入所支援センター
  - 拓光園障害児デイサービスセンター
  - 拓光園日中一時支援事業所
  - 拓光園共同生活介護事業所(2ヶ所)
  - 知的障害者通塾 拓心館 ☎4520
  - 津軽生活支援センター共同生活介護援助12ヶ所
  - 就労移行・就労継続B型事業所サポート(2ヶ所)
  - 就労訓練施設 拓心学園
  - 生活自立寮コーポラスよろこび
  - 生活介護・就労継続支援B型エイブル
  - 児童デイサービスはあこ

- 青森県指定
- 津軽障害者就業・生活支援センター
- 弘前市委託事業 ☎4524
- 弘前市障害者生活支援センター ☎2400
- 弘前市委託事業 ☎2400
- 弘前市北部地域包括支援センター ☎2100
- 黒石市委託事業 ☎5018
- 山郷館総合支援センター黒石